

2022年2月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年10月7日

上場会社名 株式会社 シーズメン
 コード番号 3083 URL <http://www.csmen.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三河 宏彰
 問合せ先責任者 (役職名) 経理情報システム課長 (氏名) 保住 光良

TEL 03-5623-3781

四半期報告書提出予定日 2021年10月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2022年2月期第2四半期の連結業績(2021年3月1日～2021年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期第2四半期	1,973		202		187		193	
2021年2月期第2四半期								

(注) 包括利益 2022年2月期第2四半期 190百万円 (%) 2021年2月期第2四半期 百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年2月期第2四半期	67.12	
2021年2月期第2四半期		

(注) 2022年2月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、2021年2月期第2四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年2月期第2四半期	2,028	1,150	55.0	387.01
2021年2月期				

(参考) 自己資本 2022年2月期第2四半期 1,115百万円 2021年2月期 百万円

(注) 2022年2月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、2021年2月期の数値については記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年2月期		0.00		0.00	0.00
2022年2月期		0.00			
2022年2月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年2月期の連結業績予想(2021年3月1日～2022年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	4,540		320		320		50	17.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 2022年2月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前年同四半期増減率については記載しておりません。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1 社 (社名) 株式会社スピークインターナショナル、除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2022年2月期2Q	2,882,800 株	2021年2月期	2,882,800 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2022年2月期2Q	67 株	2021年2月期	67 株
------------	------	----------	------

期中平均株式数(四半期累計)

2022年2月期2Q	2,882,733 株	2021年2月期2Q	2,882,756 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績予想に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が判断したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

なお、業績予想の前提となる条件等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(会計上の見積りの変更)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10
3. その他	11
継続企業の前提に関する重要事象等	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大が収まらず、緊急事態宣言の発令など経済活動の抑制を伴う対策を余儀なくされ、景気は、先行き不透明な状況が続いております。

衣料品小売業界におきましては、大型商業施設に対する休業要請や営業活動の制限が要請され、消費者の購買意欲も停滞した状況が続き、極めて厳しい経営環境で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは、売上確保と今後の成長に向けた取り組みとして、下記の通りの対策を実施してまいりました。

(シーズメン)

商品面におきましては、一定の需要が見込めるオリジナルキャラクター商品の投入を拡大、常連のお客様への予約販売の促進、ブランド商品における過去品を中心としたセール販売の実施などにより、仕入・在庫の効率化を図りました。

販売面におきましては、実店舗への集客として「POINT3倍」など特典DMの発送、ご来店のお客様へのタブレットによる今後予定商品のご紹介、お会計時のクーポン券配布による再来店の促進など、客数減少への対策を実施いたしました。また、予約会などの販売手法により在庫抑制への取り組みを強化するとともに、ショッピングセンターの空床や催事スペースに期間限定店舗を出店し、投資リスクを最小化した形態での売上拡大を図りました。

ECビジネスにおきましては、今春より「METHOD」のECサイトを新規オープンするとともに、既存の「流儀压榨」ECサイトをリニューアルいたしました。

店舗展開におきましては、当第2四半期連結累計期間における出店はなく退店は1店舗で、当第2四半期連結会計期間末の店舗数は「METHOD」20店舗、「流儀压榨」14店舗、「AGIT POINT」1店舗、「G-LAND」1店舗、「FACETASM」1店舗の合計37店舗となりました。

(スピックインターナショナル)

商品面におきましては、需要の低下しているビジネス関連商品などの仕入を抑制するとともに、販売動向がよく早期消化が見込まれるビッグシルエット、スポーツテイストの商品投入を増やし、また、夏物については、多数の店舗を構えている都市部において緊急事態宣言が継続している状況を鑑みて仕入を抑制するなどの対策を実施いたしました。

販売面におきましては、ブランド会員新規入会キャンペーンの実施による新規顧客開拓、ポイント付与率アップなどの企画による既存顧客へのアプローチ、また、セット割引のセール企画を継続的に実施し集客の向上を図りました。

店舗展開におきましては、当第2四半期連結累計期間における出店は1店舗、退店は17店舗で、当第2四半期連結会計期間末の店舗数は「TORNADO MART」17店舗、「TORNADO MART WORLD」6店舗、「HIGH STREET」10店舗、「BLUE TORNADO」1店舗、「TORNADO MART OUTLET」2店舗の合計36店舗となりました。

以上の結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間における売上高は19億73百万円、営業損失は2億2百万円、経常損失は1億87百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億93百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産は20億28百万円となりました。主な内訳は、現金及び預金4億86百万円、受取手形及び売掛金1億77百万円、商品6億14百万円、有形固定資産14百万円、投資その他の資産5億9百万円であります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は8億78百万円となりました。主な内訳は、支払手形および買掛金1億37百万円、未払金2億55百万円、未払費用1億8百万円、資産除去債務2億45百万円等であります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は11億50百万円となりました。主な内訳は、資本金7億88百万円、資本剰余金8億99百万円、利益剰余金△5億78百万円等であります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、営業活動により1億47百万円減少、投資活動により86百万円増加、財務活動により25百万円減少し、4億86百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年2月期の業績予想につきましては、2021年7月8日付け「特別利益の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしましたとおりでございます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間 (2021年8月31日)	
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	486,099
受取手形及び売掛金	177,844
商品及び製品	614,167
前払費用	15,979
1年内回収予定の長期貸付金	16,750
未収入金	131,885
立替金	43,137
その他	18,441
流動資産合計	1,504,304
固定資産	
有形固定資産	
建物及び構築物(純額)	13,235
工具、器具及び備品(純額)	265
建設仮勘定	500
有形固定資産合計	14,001
無形固定資産	
商標権	846
無形固定資産合計	846
投資その他の資産	
投資有価証券	24,610
敷金及び保証金	484,963
投資その他の資産合計	509,574
固定資産合計	524,421
資産合計	2,028,726
負債の部	
流動負債	
支払手形及び買掛金	137,064
1年内返済予定の長期借入金	18,880
リース債務	6,286
未払金	255,152
未払費用	108,144
未払法人税等	23,695
未払消費税等	13,000
賞与引当金	21,839
資産除去債務	15,753
その他	10,299
流動負債合計	610,116
固定負債	
リース債務	6,122
役員退職慰労引当金	2,083
資産除去債務	229,687
その他	30,169
固定負債合計	268,063
負債合計	878,179

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間
(2021年8月31日)

純資産の部	
株主資本	
資本金	788,148
資本剰余金	899,296
利益剰余金	△578,198
自己株式	△38
株主資本合計	1,109,207
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	6,426
その他の包括利益累計額合計	6,426
新株予約権	34,911
純資産合計	1,150,546
負債純資産合計	2,028,726

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)
売上高	1,973,505
売上原価	898,501
売上総利益	1,075,004
販売費及び一般管理費	1,277,957
営業損失(△)	△202,953
営業外収益	
受取利息	215
受取配当金	177
助成金収入	13,196
その他	2,738
営業外収益合計	16,327
営業外費用	
支払利息	459
その他	520
営業外費用合計	979
経常損失(△)	△187,605
特別利益	
負ののれん発生益	397,938
特別利益合計	397,938
税金等調整前四半期純利益	210,332
法人税、住民税及び事業税	16,468
法人税等調整額	367
法人税等合計	16,835
四半期純利益	193,497
親会社株主に帰属する四半期純利益	193,497

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)
四半期純利益	193,497
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△2,955
その他の包括利益合計	△2,955
四半期包括利益	190,541
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	190,541

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	210,332
減価償却費	1,314
負ののれん発生益	△397,938
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△8,589
受取利息及び受取配当金	△393
支払利息	459
売上債権の増減額 (△は増加)	35,903
たな卸資産の増減額 (△は増加)	29,088
その他の資産の増減額 (△は増加)	14,813
仕入債務の増減額 (△は減少)	△12,089
その他の負債の増減額 (△は減少)	20,657
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△8,094
小計	△114,535
利息及び配当金の受取額	393
利息の支払額	△486
法人税等の支払額	△32,823
営業活動によるキャッシュ・フロー	△147,452
投資活動によるキャッシュ・フロー	
無形固定資産の取得による支出	△3,300
有形固定資産の取得による支出	△31,371
敷金及び保証金の回収による収入	28,054
敷金の差入による支出	△1,898
資産除去債務の履行による支出	△13,245
貸付金の回収による収入	16,650
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	91,359
投資活動によるキャッシュ・フロー	86,247
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△11,830
リース債務の返済による支出	△13,223
財務活動によるキャッシュ・フロー	△25,053
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△86,258
現金及び現金同等物の期首残高	572,357
現金及び現金同等物の四半期末残高	486,099

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

当第2四半期連結累計期間(自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)

当社は、衣料品小売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

(資本金及び剰余金の処分)

当社は、2021年9月8日開催の取締役会において、「資本金の額の減少（減資）及び剰余金の処分」について、2021年10月14日開催の臨時株主総会に付議することを決議いたしました。

当社は今後の機動的かつ柔軟な資本政策に備えるため、会社法第447条第1項の規定に基づき、資本金の額の減少及び剰余金の処分を行うものであります。

1. 資本金の額の減少（減資）の要領

(1) 減少する資本金の額

資本金の額788,148,100円のうち、738,148,100円を減少して、50,000,000円といたします。

(2) 資本金の額の減少（減資）の方法

減少する資本金の全額を、その他資本剰余金に振り替えることといたします。

2. 剰余金の処分の要領

会社法第452条の規定に基づき、上記の資本金の減少の効力発生を条件に、その他資本剰余金を繰越利益剰余金の欠損に充当することといたします。

(1) 減少する剰余金の項目及びその額

その他資本剰余金738,148,100円

(2) 増加する剰余金の項目及びその額

繰越利益剰余金738,148,100円

3. 日程

債権者異議申述公告日	2021年9月13日
債権者異議申述最終日（予定）	2021年10月13日
臨時株主総会決議日（予定）	2021年10月14日
減資の効力発生日（予定）	2021年10月15日

4. 今後の見通しについて

本件は、貸借対照表「純資産の部」における勘定科目内の振替処理であり、当社の純資産額の変動はなく、業績に与える影響はありません。

本件は、2021年10月14日開催予定の臨時株主総会において付議された議案が承認可決されることを条件といたします。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。